



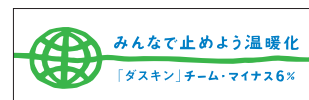
Green Report 2009



株式会社 **ダスキン**

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
TEL.06-6387-3411 (代表)

www.duskin.co.jp



SF090723 09.8.1-15,500



暮らしの問いかけに応えることから、
ダスキンはいろいろな商品・サービスを育んできました。
お客さまとの対話の中で、これからも歩んでまいります。

私たちダスキンは、「街いちばんの喜びを、街いちばんの信頼で」を合言葉に、
地域に根ざした店と人づくりに取り組んでおります。
人びとの暮らしに結びついた「商品・サービス」と、お客さまにとって便利で快適な「仕組み」、
そしてお客さまから信頼される「人」を育てることを通して、
日々の暮らしの便利さ、心地よさをご提供できる一店一店を目ざしてまいります。

いま環境と資源、とりわけ「地球温暖化防止」は個人の生活でも企業活動でも
避けては通れない問題になっています。

私たちは昨年、企業として環境に取り組む姿勢を打ち出し、
「身近に、未来に、エコのタネまき。」をスローガンに「環境宣言」を制定しました。
ダスキンは循環して使用するおそうじ用具のレンタルから始まった会社です。
これからも、「くり返し使う・みんなで使う・減らす・捨てない」を基準とし、
環境に負荷をかけない商品・サービスの開発に更に力を入れてまいります。

今後も、私たちはお客さまに喜んでいただける商品・サービスを育て、
暮らしの質的な充実と環境への貢献を実現するよう歩んでまいります。



株式会社ダスキン 代表取締役社長

山村 輝治

CONTENTS

ごあいさつ02
ダスキンの環境宣言／ダスキ環境方針03

クリーンサービス事業

循環型のレンタルシステム04-05
環境に配慮した商品ラインナップ06-07
循環型レンタルシステムを支える工場...08-09

ケアサービス事業

環境に配慮したプロのサービス.....10-11
環境に配慮した薬剤の開発12-13

ミスタードーナツ事業

資源を大切に使うエコショップ.....14-15

レントオール・ヘルスレント事業

資源を有効に使うレンタルショップ.....16-17

その他の取り組み活動 18
環境保全活動の歩み 19

ダスキンの環境宣言

身近に、未来に、エコのタネまき。

おそうじ用具のレンタルからはじまり、
ものを大切にしてきたダスキンは、
地球の未来を大切にするため、

くりかえし使う・みんなで使う・減らす・捨てない、
これらの視点で、商品・サービスの開発、
生産、お届けから使用後までの
企業活動のすべてを見直し、さらに取り組みを進めます。

「喜びのタネまき」の精神に、エコのタネをのせて。
ダスキンは、身近なところから未来にむかって、
エコロジーを育てていきます。



ダスキ環境方針

私たちダスキンは、環境保全と企業経営の
両立に全力で取り組み、生産から使用後まで、
安全で安心、環境保全に配慮した
商品・サービスを提供します。

①環境負荷が少ない商品・サービスの設計・開発・選択
原材料の調達から商品の製造、お届け、お客さまによるご使用、使
い終わった後の回収再生や処分まで、すべての段階に配慮し、安全・
安心で環境負荷低減に貢献する商品・サービスを開発し採用します。
商品や資材の循環活用を推進し、資源のもつ価値を十分に活用し
ます。

②環境負荷が少ない工場稼働
省資源で省エネルギーな工場稼働に努めます。
廃棄物や環境負荷となる排出を抑制すると共に、排出物のリサイク
ルや有効活用を推進します。公害や事故を発生させない工場稼働
に努めます。

③環境負荷が少ない物流と営業・販促活動
ムダのない、効率的な商品流通・物流と営業活動に努めます。
車両活用に伴う排ガス汚染の軽減、CO₂排出の削減に取り組みます。
環境保全に、より優れた商品・サービスの積極的販売を推進します。

④環境負荷が少ないオフィス活動や施設・設備
省資源で省エネルギーなオフィス活動を推進します。
グリーン購入により、環境負荷の低い物品の活用を推進します。

⑤環境負荷が少ない社会づくりへの貢献
法令や規律を守ると共に、環境保全を推進するための社会施策や
要請に積極的に協力し、自らも貢献できる施策を検討し、実践します。

循環型のレンタルシステム

何度もくりかえし、最後まで使い切る。
それがダスキンのエコの考え方。

ダスキンでは、1963年の創業時から、モップやマットなどお掃除関連を中心としたレンタル商品を、全国のフランチャイズチェーン店を通じてお客さまに定期的にお届けしています。ご使用済みの商品は回収、工場で洗浄してもとの状態に再生し、再びお客さまのもとへお届けします。

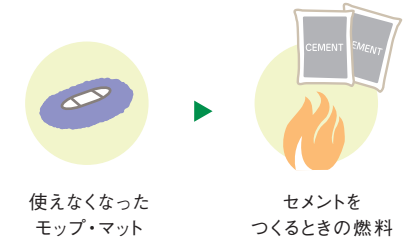
お届けするモップやマットは、1日約78万枚にのびります。販売すると二度と返ってくることはない商品ですが、ダスキンでは100%回収。その96%が工場で再び商品化され、お客さまに届けられます。どうしても再生できない4%の商品もすべて再資源化し、最後まで大切に使い切ります。

モップやマットに付いたホコリや汚れも無駄にしません。資源化して有効活用しています。



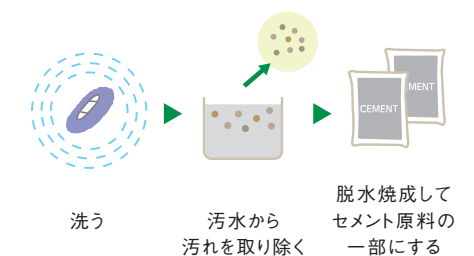
再生ができなくなっても、
最後までしっかり有効活用。

くり返し使ううちに破れや変色などでどうしても再生できなくなったモップやマットは、セメントをつくるときの燃料として最後まで有効活用します。



モップやマットのホコリも、
大切な資源として活用します。

モップやマットを洗って汚れた水から取り除いたホコリや汚れは、脱水してスラッジという固まりにします。スラッジは、セメント原料の一部として活用しています。



※ダスキンのレンタルシステムをイメージフロー図として表現しております。
環境負荷低減への取り組みについては6ページ以降を参照ください。



環境に配慮した商品ラインナップ

モップやマット以外の商品も環境に配慮。
商品の再資源化も進めています。

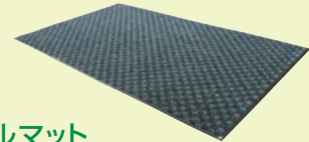
ダスキンでは、レンタルモップやマットのリサイクルだけでなく、再生資源からできた商品や、環境への負荷が少ない商品を積極的に採用し、環境の負荷を減らしています。また、使用済みのモップハンドルや空気清浄機などの回収を行い、再資源化する取り組みも積極的に進めています。

資源を有効活用する商品

ダスキンは限りある資源を有効に使い、ゴミを減らす商品をお届けしています。

レンタルマット

事業所用の一部のマットなどに、再生ペットボトル繊維を使用しています。2006年からは、ペットボトルだけでなく使用済みユニフォームやエアバッグの複数の再生繊維をパイル（布地）全体の50%以上に使用した「エコリサイクルマット」が加わりました。



エコリサイクルマット

レンタルモップ

繊維製品の紡績工程で発生する短繊維などの「未利用繊維」は従来は廃棄されていた部分です。この「未利用繊維」を使用した「ノンオイルモップ・エコ」を2005年度から、「事業所用モップ・エコ」を2006年度から商品化しています。



ノンオイルモップ・エコ

工場用
レンタルウエス

創業時からの家庭用ダストクロス「ニューホームダスキン」は商品としての寿命が尽きたあとも工場用のウエスとして生まれ変わります。

レンジフード
フィルター

「レンジフードフィルター不織布タイプ」の不織布部分は、とうもろこしからつくられた繊維が主素材です。

活性炭
脱臭パック

ダスキン浄水器の使用済み活性炭をリサイクルした商品です。

空気清浄機
浄水器 芳香器

一部商品では、カバー部分などに再生樹脂を使用しています。

トナーカートリッジ・
リサイクルサービス

使用済みカートリッジを回収し、厳しい品質管理システムでリサイクルしたものをお届け。不用パーツは再資源化し再利用しています。

環境への負荷を減らす商品

家庭排水を汚さない商品、省資源に役立つ商品など、レンタルモップやマット以外の商品も環境に配慮。使用することで、環境への負担を減らすことができます。



天ぶら油ろ過器「油っくりん」

活性炭フィルターがニオイ、ニゴリまでをしっかりろ過し、油を長持ちさせます。くり返し使えるので廃油の量も減らせます。

洗剤類

自然に分解されやすい生分解性の高い界面活性剤を使用した洗剤類。主原料は天然成分で、安全性が高い成分を厳選して使用しています。



エコスポンジ

フキペット

浴槽用スポンジ



スポンジ・ふきん商品

洗剤に頼らなくても、水にぬらして軽くこするだけでガンコな汚れを落とすことができます。

さまざまな製品の回収、再資源化に
取り組んでいます。

モップ、マット以外の商品でも回収・再資源化をすすめています。マットや、モップのパイルなどのレンタル繊維製品だけでなく、使用済みのモップハンドルや空気清浄機本体、浄水器本体、キャビネットタオル本体などを回収して分解、再資源化する取り組みを全国で行っています。対象商品はそれぞれのお店が責任を持って回収した後、工場を経由し専門業者に送られます。送られた商品は一品一品分解・解体され、ほぼ100%再資源化されています。



一品一品手で分解・解体し、素材やパーツごとに分別され、再生素材として再資源化されます。

社員一人ひとりがエコを実践。
環境家計簿に取り組んでいます。

環境にやさしい商品やサービスをお届けするためには、「まず自分たち自身が環境への意識を高め、CO₂排出量削減に取り組もう」と、2005年度から営業部門の社員とその家族が「環境家計簿」をつけています。参加者は2005年201人が2008年は871人と、4.3倍に。CO₂削減効果は2005年度約76トンが2008年度は約124トンと、参加者の増加とともに増えています。今後も活動の輪を広げて取り組んでいきます。



「子どもと環境について話ができた」。子どもと一緒に環境家計簿を作成する社員。

天然ガスの営業車で、
地球にやさしい配送業務。

商品の配送は、排気ガスをできるだけ減らす運転（エコドライブ）を心がけるなど、環境に配慮しています。低公害車の導入も順次すすめており、主力営業車をすべて天然ガス車に切り替えたモデル店が「平成18年度関西エコオフィス奨励賞」を受賞しました。お店と工場を結ぶトラックも天然ガス車に切り替えて工場～お店～お客さまという環境にやさしい配送モデルを作り上げたことなどが評価されました。



「平成18年度関西エコオフィス奨励賞」をいただいたダスキン桜川支店。この賞は関西広域機構が「関西エコオフィス宣言」の参加オフィスなどから特に優れた取り組みを行っているオフィスを選定・表彰したものです。

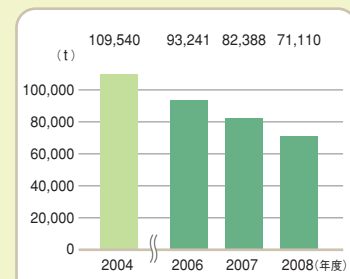


2009年3月現在、64台の天然ガス営業車が全国で活躍しています。

循環型レンタルシステムを支える工場 工場でも資源の有効活用を 推進しています。

ダスキンの循環型のレンタルシステムを支えているのは、回収したモップやマットを洗浄、再生して再び商品としてお店に発送する全国47の工場です。工場では、2004年に比べてCO₂排出量をおよそ38,400t削減。また、水や洗剤の使用量、廃棄物などの削減も進めており、環境への負荷を可能な限り抑える努力を続けています。

■CO₂排出量(47工場計)



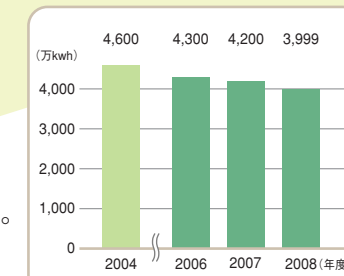
2004年に比べて38,430t-co₂ 約35%削減



工場全体の電気消費を削減

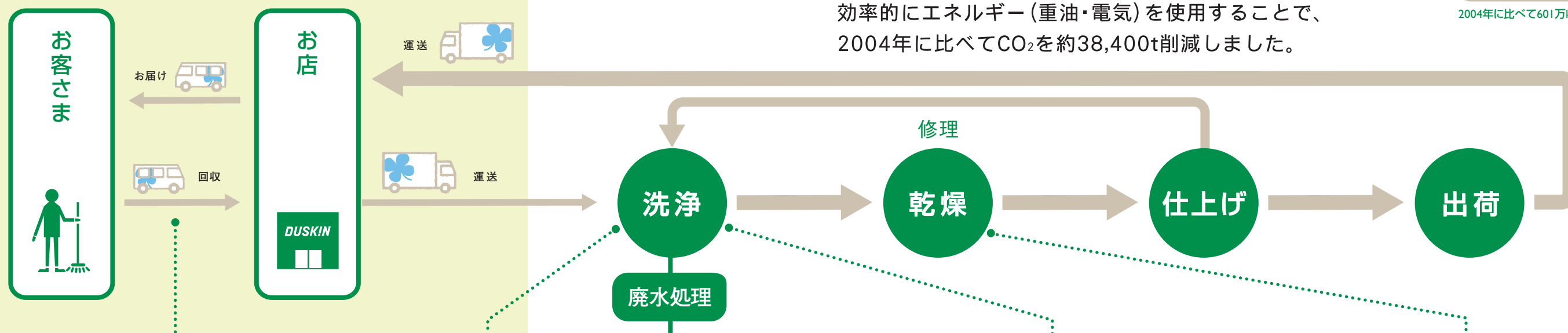
省エネ対応型乾燥機の導入、工場従業員の環境意識の向上、各種設備の効率的な運転などの取り組みにより、電気消費量の削減が進んでいます。さらなる省エネ設備の開発をすすめていきます。

■電気消費量(47工場計)



2004年に比べて601万kwh 約13%削減

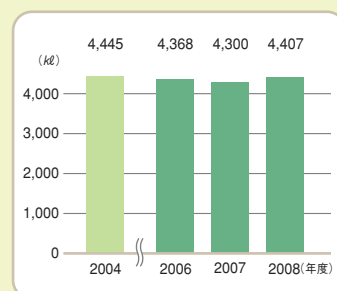
効率的にエネルギー(重油・電気)を使用することで、2004年に比べてCO₂を約38,400t削減しました。



低公害車導入で燃料を削減

お客さまに商品をお届けする営業車や配送トラックの低公害車導入を積極的に進めています。2008年は自社配送率を高めた為に消費量が増加しましたが、アイドリングストップやエコドライブ推進により車両1台あたり燃費は昨年に比べて約3%向上しました。

■商品配送車の燃料消費量



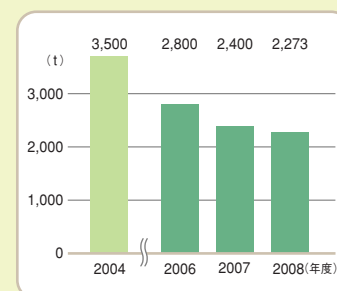
2004年に比べて38kg 約1%削減
※天然ガス車導入により燃料を原油換算にて算出。

水の特殊処理で洗剤を削減

洗浄用の水を特殊処理することで、洗剤使用量を2004年度に比べて約35%削減しました。洗剤削減により排水を処理する負荷が大幅に軽減されスラッジ※の発生量も約20%削減されました。

※スラッジ：汚れた水からホコリや汚れを分離して固めたもの。

■洗剤消費量(47工場計)

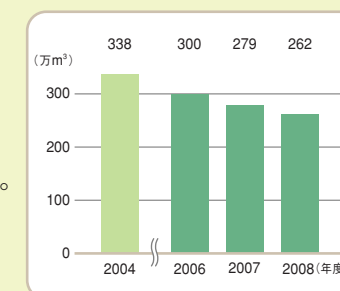


2004年に比べて1,227t 約35%削減

水のリサイクルで使用量を削減

洗浄に使用する水は、通常処理を経て河川や下水道に流れますが、特殊な処理をすることにより洗浄水として繰り返し使用。水の使用量を大幅に減らすことができました。

■水の消費量(47工場計)

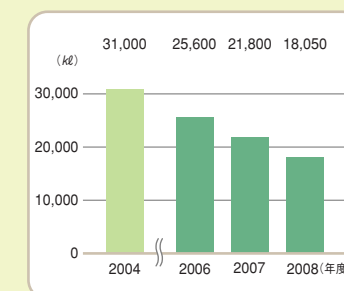


2004年に比べて76万m³ 約22%削減

省エネ乾燥機で燃料を削減

省エネ対応型の乾燥機の導入を進め、全加工能力の70%まで普及しました。既存機に対して、新規開発機は燃料消費量を約50%削減、既存機の省エネ改造タイプでは約30%削減することができました。

■燃料消費量(47工場計)



2004年に比べて12,950kg 約42%削減

環境に配慮したプロのサービス

人と自然に配慮したプロの技術で、 快適な環境づくりをお手伝いします。

ダスキンは、プロの技術で快適な環境づくりをサポートするサービスを1970年代より、ご提供しています。ものを大切に、キレイに使えば長持ちし、ゴミの量を減らすことができます。ご家庭やオフィス、お店などの清掃や、エアコンをはじめとした電化製品などを、清潔で快適にリフレッシュし、長く使っていただけるように、環境に配慮した技術を積極的に取り入れ、展開を広げています。エアコンなどの汚れを除去することで熱効率もアップし、省エネルギーにも役立ちます。

各種先進サービスの導入展開

1971年	サービスマスター事業スタート
1988年	ターミックス事業スタート
1989年	メリーメイド事業スタート
1991年	エアコンクリーニングサービスを開始
1999年	トゥルグリーン事業スタート
2001年	環境維持サービス関連事業でISO14001認証取得
2002年	床面メンテナンスにUHSシステム導入
2003年	全自動洗濯機クリーニングサービスを開始

エアコンクリーニング

エアコンに付着したホコリや汚れは冷暖房の性能を低下させ、劣化を早めます。エアコンクリーニングをすると機器の負担が軽くなり、本来の性能が回復して快適な温度になるまでのスピードもアップ。電気の無駄も省けます。



ハードフロアクリーニング・UHSシステム

仕上げ剤として樹脂ワックスを塗布した床を定期的に高速バニッシャーで磨いて光沢を復活させます。毎回ワックスの塗布が必要な従来のサービスに対し、ワックスの使用量を35%削減できるとともに、洗浄汚水を最小限に抑えます（年間12回実施した場合）。



花と庭木のお手入れサービス
トゥルグリーン



プロのお掃除サービス
サービスマスター



家事代行サービス
メリーメイド



害虫駆除と予防サービス
ターミックス

カーペット クリーニング

毛足の奥の汚れまで除去し、よみがえらせます。



レンジフード クリーニング

内部にこびりついた油汚れを徹底的に洗浄。



全自動洗濯機除菌 クリーニング

専用機材で洗濯機内部を洗浄・除菌。



サービスで出た汚水も適切に処理します。

床ワックスのはく離、エアコンクリーニングやレンジフードクリーニングなどでは、発生する汚水の管理にも配慮しています。お客さま先では、環境上安全な排水経路を確認するとともに、必要なときには洗剤や汚れを多く含む汚水をお店に持ち帰り、適切な処理を行ってから排水しています。

ポリタンクを持参し、必要に応じて汚水を持ち帰ります。



ユニフォームをリサイクル

2006年よりユニフォームのリサイクルシステムを導入しました。着古したユニフォームは回収して再生工場へと送られ、建設用・作業用資材としてリサイクルされています。



環境に配慮した薬剤の開発

薬剤を減らし、効果を高める。 環境に配慮した技術開発を続けています。

ご家庭やオフィス・お店のお掃除や害虫駆除、庭木のメンテナンスなどのサービスでは、サービス内容の性質上、洗剤をはじめとした各種薬剤を使用する機会が多くなります。ダスキンでは、「薬剤」と「施工方法」の両面から、人や環境への安全性を向上させる努力を続けています。お掃除サービス用薬剤のPRTR対象化学物質^{※1}の削減では、取り組みをはじめた1999年に約35tだったものを、2008年には約13.7tに。約61%の削減を実現しました。

※1 PRTR対象化学物質：
人や環境に対して負荷が高い物質として、特定の事業者の使用・排出実績の管理と報告が義務づけられている化学物質。
(ダスキンケアサービスは対象事業者になっていません)

薬剤等の安全性向上への取り組み

1999年	シロアリ駆除・防除にセントリコン・システム導入
2001年	ゴキブリ駆除にベイトシステム導入
2003年	害虫駆除薬剤(殺虫剤類)の脱有機リン剤化 ^{※2} ワックスはく離作業時の汚水持ち帰りを開始
2004年	アレルギー原因の可能性として厚生労働省が 指定した13物質の薬剤配合全廃 お掃除サービス用洗剤の無リン化完了
2005年	合成洗剤を使わないエコおそうじを サービスメニューとして導入
2006年	植栽管理の土壌灌注システム導入
2008年	グリーンクリーン導入

※2 マイクロカプセル製剤タイプの1種を除く

ゴキブリ駆除「ゴキブリ・ベイトシステム」

ターミニックスでは、ゴキブリ駆除に環境保全型の総合害虫管理(IPM)システムを日本でいち早く取り入れ、薬剤を散布しないベイト工法(ベイトシステム)を採用しています。薬剤を散布しないのでニオイもほとんどなく、食器や調理器具などに薬剤が付着する危険もありません。薬剤の使用量は、散布の場合の30分の1以下に抑えられます。

専門担当者が生息場所と繁殖状況を調査。駆除が必要な場合、まずバキューム(吸引)により薬剤を使わずゴキブリを駆除します。



特定の場所だけに少量の薬剤を混ぜたエサ(ジェル状ベイト剤)を設置し、駆除します。

シロアリ駆除・防除「シロアリ・ベイトシステム」

ターミニックスのシロアリ駆除では、床下などに殺虫剤を散布する方法から、シロアリの成長を阻害する成分を微量添加したエサ(ベイト剤)を食べさせて、巣ごと根絶するベイト工法[※]の普及を進めています。調査と定期点検による予防管理に重点を置き、薬剤の使用はできるだけ少量に抑えています。

※ベイト工法は、ダウ・アグロサイエンス・エル・エル・シー商標の「セントリコン・システム」を採用しています。

シロアリが好むエサ(木片)を地面にセットし、定期点検でシロアリが見つかった場合は、ベイト剤に交換します。専用容器に入れて地面に埋め込むため、人やペットが触れるおそれはほとんどありません。



薬剤をまかない害虫駆除をめざしています。

害虫駆除では、殺虫剤を大量に散布する従来の施工方法ではなく、「薬剤をまかない」施工への切り替えを進めています。害虫の有無やその進入経路などをチェックし、必要になった時、少量の駆除用薬剤を設置することで、薬剤の使用量をできるだけ抑えています。

ゴキブリ駆除で採用する 総合害虫管理(IPM)の3つのポイント

- ① [予防] 施設内における害虫の発生、生息しにくい環境を整える
- ② [判断] 定期的に害虫の発生、生息を観察し、防除の要否を判断
- ③ [防除] 対策が必要と判断されたら、安全で適切な手段で防除

新たな掃除プログラム「グリーンクリーン」を導入。

2008年よりダスキンでは、独自の基準を設け、環境負荷低減、お客さまの健康、省エネ・省資源の3つを目的にした新たな掃除プログラム「グリーンクリーン」の導入をはじめました。



ダスキンケアサービス自主基準薬剤
【グリーンクリーンオリティ】マーク



安全性の高い薬剤を導入

資材容器の削減

サービスマスターでは、薬剤(18リットル入り)のポリ容器や金属缶を、廃棄部分が少なくリサイクルしやすいバッグインボックスに切り替えています。



エコおそうじ

合成洗剤を使うと肌へのトラブルが心配なお客さまや、小さなお子さまがおられるご家庭、床をなめるペットが心配なお客さまなどのために、合成洗剤を使わないお掃除サービスをご用意しています。重曹やクエン酸、石けんなど身近で安全な材料を使ってお掃除をするこの方法は、メリーメイドと、サービスマスターの事業所日常清掃サービスで行っています。



エコおそうじで使う材料は、昔から生活の中で使われてきたものばかり。食品や入浴剤にも使われ自然の中ですぐに分解されるため、環境への負担も小さくすみます。

飛翔害虫駆除システム

薬剤を使用せず、紫外線ランプで虫を誘引して、粘着性の捕虫紙で捕獲するターミニックスの害虫駆除サービス。飲食店などの防虫管理に役立ちます。



樹木の年間お手入れサービス

トウルグリーンの樹木の年間お手入れサービスでは、薬剤を散布せずに直接土壌に注入することで、不要な箇所に薬剤が飛び散らず、使用量も減らす取り組みを進めています。



資源を大切に使うエコショップ 再利用とリサイクルで 廃棄物の削減を進めています。

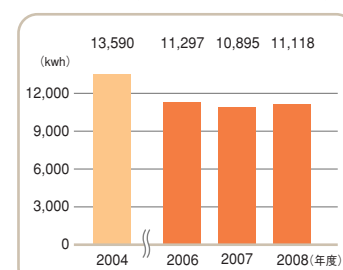
ミスタードーナツは、創業以来39年間、心を込めた手づくりドーナツと、「使い捨てない」エコロジーなお店でお客さまをお迎えし、お客さまにも地球にも愛されるお店であり続けたいと願っています。創業初期から、コーヒーやドリンク類の提供を陶器やガラス製を使い、「使い捨てない」エコを実践しています。また、いつもできたて、新鮮なドーナツを多彩に揃えると同時に、製造管理の徹底により廃棄を削減する努力も続けています。



ショップの省エネに努めています。

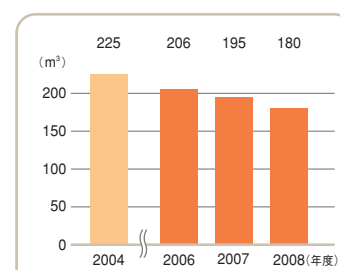
ショップでは日々、水道光熱メーター管理やこまめな消灯により、省エネ活動を実施。2004年度に比べ約18%の電気使用量を削減、また水道使用量は2004年度対比20%削減しました。さらに、店舗の改装に合わせ、照明や看板のLED化、シースルー型熱線反射フィルムの導入※1、循環型排気システム※2など、省電力型店舗設備の導入・検証を行っています。

■電気使用量（1店舗当たり・月間平均）



2004年に比べて2,472kWh 約18%削減

■水道使用量（1店舗当たり・月間平均）



2004年に比べて45m³ 20%削減



※1 シースルー型熱線反射フィルム
透明でありながら赤外線や紫外線をカットし、冷房や暖房などの熱効率を高める効果がある。紫外線に寄ってくる虫よけ効果もある。

※2 循環型排気システム
フライヤーの排気をキッチン内で循環させて、空調負荷を低減させるシステム。キッチン内の温度効率アップや臭いや油煙を外に出さないメリットがある。

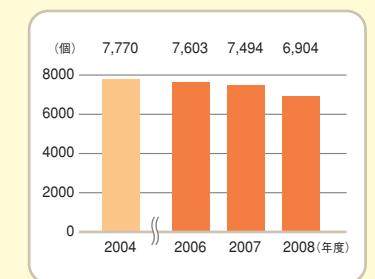
閉店時陳列ドーナツの廃棄削減とリサイクル

ドーナツの廃棄個数を削減するため、全国のショップでは製造スケジュールの見直しや廃棄チェックリストによる管理を徹底して行っています。2008年度には、2004年度に比べ1店平均月間866個削減しました。また、閉店時に売れ残ったドーナツは回収し、飼料化処理工場で原料化、液状化してそのまま飼料原料としてリサイクル。このシステムは現在、関東エリアの365店で稼働、今後さらに取り組みエリアの拡大を予定しています。



製造管理を徹底し廃棄個数を削減

■1店あたりの月間廃棄量



2004年に比べて866個 約11%削減

どうしても売れ残った
ドーナツは…

飼料原料としてリサイクル



廃油は100%リサイクル

ドーナツを調理した後に廃棄される油（年間1,600トン）はすべて回収。飼料や、ゴムなどの工業用原料としてリサイクル活用。また、その一部は液体石鹼にリサイクルし、ショップの洗剤として利用しています。さらに昨年度からは、モップやマットを洗浄、再生するダスキンの工場でボイラーの燃料としても活用しています。（北海道エリア）



2007年12月より低トランス脂肪酸オイルを全国のショップに導入。伝統のおいしさを変えずに、ドーナツ1個あたりのトランス脂肪酸を平均83%低減しました。



食器は使い捨てずに再利用

創業初期から、使い捨て紙製品ではなく、おもに陶器やガラス製を使っています。紙製を使った場合と比べて、年間でおおよそ700トンの紙の削減につながっています。



資源を有効に使うレンタルショップ

必要なものを、必要なときにだけ。
レンタルで限られた資源を有効に活用します。

ベビー、トラベル、イベント用品などのレンタルショップ・ダスキンレントオールでは、「みんなが購入」せず「みんなで使う」ことで、限りある資源を有効に使うエコを提案し続けています。買わないことは捨てずにすむということ。中古品の販売もおこない「使わなくなった人から使う人へとリレーしていく中継地点」としての役割も果たしています。

さらに、介護・福祉用具の専門店「ヘルスレント」を展開し、高齢社会のニーズに合わせた福祉用具をレンタルで提案しています。



介護・福祉用具のレンタルで、サービスの幅を拡大。

福祉用具はご利用者さまの身体状況、生活環境、ご要望に合わせて利用することが大切です。また、日々変化ご利用者さまの症状に合わせて福祉用具も変えていく必要があります。レンタルなら、このような場合でも柔軟に対応ができます。介護・福祉用具の専門店「ヘルスレント」では、ご利用者さまや介助の方が使いやすい用具をレンタルで提供することで、資源の有効活用に貢献しています。



レンタルによる省資源

一つの商品をみんなで使うことで資源の活用効率が大幅に向上します。例えばダスキンレントオールでは、ベビーベッドだけでも年間約29,000台※1ご利用いただいています。仮にこのベッドをお客さまご自身でご購入されると、約29,000台分の資源が必要になりますが、実際には約13,200台※2ですんでいます。つまり、15,800台分（約54%）の資源が使われずにすんでいるということ。

身近なことからはじめるエコロジー。私たちは赤ちゃんの未来のためにも地球への負担を減らしていきたいと考えています。

※1 2008年4月～2009年3月レンタル台数

※2 2009年3月末ベビーベッド保有台数



使わなくなったら買い取る「販売&買い取りサービス」

新品を特別価格で販売し、不要となった時点で買い取ってレンタル品や中古品販売に活用する「販売&買い取りサービス」をベビー用品を対象に行っています。「レンタルしたいけど、新品がいい」「使わなくなったベビー用品の処分が大変」というお客さまのニーズに応えたサービスとして好評を得ています。



消費者・お客さま



ダスキンレントオール
ステーション

メンテナンス・修理

③買い戻した商品は、レンタル品・中古品として活用されています。

DUSKIN

※ご購入より2年以内

商品発送時の段ボール削減

宅配便を利用してレンタル商品をお届けする際の商品梱包用段ボール箱を、くり返し使用できる専用袋に切り替え、段ボールの使用量削減に取り組んでいます。また、物流センターから各店舗へ商品を配送する際の梱包材も、くり返し使用できるプラスチック製の通い箱に切り替え、同時に梱包材の削減を実現しています。このことで商品の保護もより強化され、梱包作業の軽減にも貢献しています。

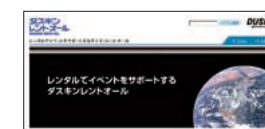


レンタル商品を多数取り揃え

ダスキンレントオールでは、「ベビー用品」「トラベル用品」「ホーム用品」「イベント用品」など、さまざまなアイテムを取り扱っています。街のレントオールステーションやホームページ「かしてネット」「イベントかしてネット」を通じてレンタルできます。



「かしてネット」
www.kasite.net



「イベントかしてネット」
event.kasite.net

その他の取り組み活動

子どもたちに“モノを大切に使う”ことを伝えたい ダスキン工場見学

ダスキンでは“モノを大切に使う”こと、そして環境保全の重要性を伝えたいと願い、大阪中央工場と横浜中央工場、小学生を対象にした「工場見学」を実施しています。工場見学では、汚れたモップやマットを回収し、再び商品化されるまでの工程を紹介します。さらに、工場に出た排水をキレイにする実験や吸着剤の付いたモップと付いていないモップの機能の違いを楽しく体験・学習してもらいます。次代を担う子どもたちに環境にやさしい循環型の仕組みを紹介し“モノを大切に使う”ことの重要性を伝えます。



モップがキレイになる仕組みなどをわかりやすく紹介した「パスポート」をテキストに、子どもたちが楽しみながら環境のことを学べるよう工夫しています。

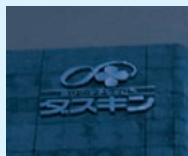


あかりを消して、地球にやさしい生活を見つめ直そう 「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に参加

地球温暖化防止のために環境省がライトアップ施設などの消灯を呼びかける「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン（2008年6月21日～7月7日）」に参加。ダスキン本社の屋上看板と商業界ビルの広告塔や店舗・オフィスなどの照明を消灯しました。



通常時



ライトダウン時

上記イベント情報や環境への取り組みなどをご紹介します。

ダスキンホームページ <http://www.duskin.co.jp>

子どもたちが身近な環境問題やお掃除について楽しく学べます。

ダスキンキッズタウン <http://www.duskin.co.jp/kids>

ゴミ拾いで街をきれいに クリーンアップマイタウン

ダスキンは創業以来、全国の事業所や工場、お店の周辺で定期的な清掃活動を行っています。「クリーンアップマイタウン」は、地域の方々と一緒にゴミ拾いを通じて身近な街をキレイにできれば、という想いで2006年にスタートした活動です。2008年は全国11ヵ所のイベント会場で開催し、約1.8万人にご参加いただき、約2.1万リットルものゴミを回収しました。今後も、気軽に楽しく、自分たちの街をキレイにする機会をご提供して参ります。



ダスキンがイベント会場にクリーンアップマイタウンブースを出展。来場者にゴミ拾いを呼びかけ、キレイな街づくりのお手伝いをします。



■クリーンアップマイタウン活動実績

開催年	参加人数（人）	ゴミ回収量（リットル）
2006年	15,138	—
2007年	14,976	20,370
2008年	18,277	21,279

※2006年はゴミ回収量を集計しておりません。

廃棄物の削減 食品リサイクル法への対応

2001年5月より食品リサイクル法が施行され、食品関連事業者は食品廃棄物の発生抑制、減量、食品資源の再生利用に努める義務が生じました。当社では様々な取り組みを行うことで2008年度実績として、約3,100tの再生利用を実施しました。今後も引き続き再生利用の向上を目指し取り組んで参ります。

環境保全活動の歩み

1963年	ダスキン創業 クリーンサービス事業（化学ぞうきんレンタルのフランチャイズ展開、工場配置）開始
1971年	工場への廃水処理設備配置開始 ミスタードーナツ事業開始（1974年からは陶器・ガラス食器使用） ケアサービス（サービスマスター）事業開始
1973年	全工場に廃水処理装置を導入完了
1978年	レントオール事業（総合レンタル）開始
1993年	ミスタードーナツで油のリサイクル処分開始
1994年	ミスタードーナツがニューフードサービス推進優良事業者表彰で エコロジカル・フードサービス部門「農林水産大臣賞」受賞
1998年	環境理念 環境方針を制定
1999年	工場のISO14001認証取得を開始
2000年	初の環境報告書「グリーンレポート2000」刊行 ミスタードーナツ事業ISO14001認証取得
2001年	クリーンサービス事業（営業部門）ISO14001認証取得 ケアサービス事業ISO14001認証取得 レントオール事業ISO14001認証取得
2003年	全工場のISO14001認証取得完了
2004年	「ダスキン行動基準（第1版）」を発行（環境への基準を含む） 小学生環境教育の場としての工場見学開催開始（横浜中央工場） レントオール事業でレンタル介護用品シリーズを本格展開開始
2005年	環境管理規程の制定 新・環境方針を制定 京都市都心部グリーン配送推進協議会への協力宣言 大阪ガスと共同環境貢献プロジェクト「D・OGプロジェクト」発足 ダスキングループCO ₂ 削減に向けての基本行動計画決定・発表
2007年	リデュース・リユース・リサイクル（3R）推進功労者等表彰で「会長賞」受賞
2008年	環境宣言制定
2009年	フードサービスグループISO14001認証取得

ISO 14001認証



クリーンサービス事業
◎登録対象：
本部と全加盟店、支店（国内）
◎登録日：2001年3月30日
◎登録番号：JQA-EM1483
◎認定機関：
財団法人日本品質保証機構



生産本部
◎登録対象：
生産本部と47総合工場及び
小野工場、和倉工場
◎登録日：2000年3月3日
◎登録番号：JMAQA-E095
◎認定機関：社団法人日本能率協会



フードサービスグループ
◎登録対象：フードサービスグループの
本部と全ショップ
◎登録日：2000年4月21日
（ミスタードーナツ事業）
◎登録改訂日：2009年3月19日
（フードサービスグループ）
◎登録番号：JMAQA-E104
◎認定機関：社団法人日本能率協会



ケアサービス事業
◎登録対象：本部と全拠点
◎登録日：2001年4月27日
◎登録番号：JQA-EM1552
◎認定機関：
財団法人日本品質保証機構



レントオール事業／ヘルスレント事業
◎登録対象：本部と全店舗
◎登録日：2001年7月26日
◎登録番号：JMAQA-E218
◎認定機関：社団法人日本能率協会

会社概要

社名	株式会社ダスキン【DUSKIN CO.,LTD.】
本社	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番33号
代表者	代表取締役社長 山村輝治
設立	1963（昭和38）年2月4日
資本金	113億5,294万円（2009年3月31日現在）
株式会社ダスキン売上高	1,628億円（2008年度）
全国チェーン店お客様売上高※	4,437億円（2008年度）
従業員数	1,987人（2009年3月31日現在）

※ダスキン全国チェーン店お客さま売上高は、国内外の直営店・子会社売上高及び加盟店推定売上高を参考数値として記載いたしております。

祈りの経営ダスキン経営理念

一日一日と今日こそは
あなたの人生が（わたしの人生が）
新しく生まれ変わるチャンスです

自分に対しては
損と得とあらば損の道をゆくこと

他人に対しては
喜びのタネまきをすること

我も他も（わたしもあなたも）
物心共に豊かになり（物も心も豊かになり）
生きがいのある世の中にする

合掌
ありがとうございました